

卒業生に贈る言葉

校庭の桜の木に蕾が付き始め、日を追うごとに春の訪れを感じる季節となりました。このような、本日良き日にお忙しい中お越しいただきました、保護者の皆様をはじめ、多くのご来賓の皆さまにご参列賜り、第四十八回卒業証書授与式を挙行できますことは望外の喜びでございます。

第四十八期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

ただ今巣立っていく三年生、百四十三名一人ひとりに卒業証書を授与いたしました。保護者の皆様におかれましても、日々慈しみ愛情を注いでこられたお子様の卒業に、言葉では言い表せない感動を胸に抱いておられることと、推察いたします。

さて、卒業生の皆さんとは二年間一緒に過ごすことが出来ました。特に三年生になってから距離感が縮まったような気がし、修学旅行やクラブ・総合学習発表会、体育大会、クラブの試合や発表会など各種行事で、皆さんの頑張りや笑顔を、見る事ができました。

「クラブ・総合学習発表会」は、各パートに別れ、本番が近づくにつれ皆さんの表情が、どんどん本気モードになっていくと同時に、楽しみながら取り組んでいる姿に四十八期生の力強さを感じました。そして本番では、最後に被り物がずれるというハプニングはありましたが、そのハプニングをとっさの判断でステージ上の全員で乗り越えた課題解決能力の素晴らしさ、また全体を通しての出来映えの素晴らしさに、観客席全員が息をのみながら観ていました。続いて実施された「体育大会」は、創立五十周年を意識し、「五十」の人文字を作った三年生男子の「集団行動」。各自のオリジナルデザインのTシャツを着て演技した、女子「ダンス」。お互いの演技へ声援を送っている姿など、全ての競技・演技に楽しみながらも、一生懸命に取り組んでいる姿は、見ている我々を清々しい気分にならせてくれました。これらの行事で四十八期生は、「豊西力」を地域・保護者の方々に力強く発信し、創立五十周年という節目の年の行事に相応しいものとしてくれました。

これも今までの学校生活で、四十八期生が全校集会での月目標や、卒業アルバムのタイトルにもなっている「わ」を意識し、進化し続けてきた結果だと思えます。三月に入ってから、最後まで全員が落ち着いて学習に集中し、進路に向け見事に『団体戦』を戦い抜きました。これら、当たり前前のごことを当然のようにしている姿から、「質の高い集団」に育っていると強く感じました。

そんな皆さんにお話してできるのも、名残惜しいですが今日が最後です。この最後の機会に、少し時間をください。

皆さんが社会に出る頃には、「労働環境の急変、グローバル化・多極化の波の到来により、世の中の流れは我々大人が予想するよりもはるかに早く、将来は職業の在り方も様変わりしている可能性が高い。」と文部科学省は予測しています。Society 5.0に代表されるように科学技術の進化により、近い将来人間よりも優秀な、人工知能の開発ももはや夢物語ではありません。また、現在世界は「分断」の危機にも直面しています。まさに時代の変わり目を皆さんは生きていく事になります。こう言うと前途多難感が強くなってしまうですが、ここで、巣立っていく皆さんに、私がずっと大切にしている名言を、贈りたいと思います。

それは、「彼を知り己を知れば百戦殆うからず。彼を知らずして己を知れば一勝一負

す。彼を知らず己を知らざれば戦う毎に必らず殆うし。」という「孫子の兵法」の一節です。

この一文を、皆さんのこれからの長い人生で置き換えてみてください。今後たびたび人生の岐路が訪れる事でしょうし、新たな事へ挑戦することも出てくると思います。ビッグプロジェクトを任せられるかもしれません。そんな時、ちよつと立ち止まりこの一文を思い出してみてください。「まず相手の事を研究し、次に自分の長所をどう活かすか、また、自分の周りのリソースがどうなっているかを判断してから行動するようにすれば、成功への道筋が見えてくる。」と読み替えることができると思いませんか。

とは言うものの、これからの人生で、生き辛さを感じることもあると思いますが、イチローさんがアメリカの大リーグ野球殿堂入りした時のインタビューで、『自分の能力を生かす能力はまた別にある。』というところは知っておいてほしい。そして、「自分をどれだけ知っているかということが、結果に大きく影響していることを知っておいて、マインスは無いと思います。」と話されています。皆さんは唯一無二の存在で、一人ひとり得手不得手があります。イチローさんが言う、『自分の能力を生かす能力はまた別にある。』という言葉は、他人と比較することではなく、皆さん一人ひとりが自分自身の良さに気付き、活かすことで、未来に向けての扉が大きく開くことに繋がるのではないのでしょうか。

いま、私が話したことを頭の片隅にでも留めて、これからの人生を一步步つ歩いていたださい。万一迷いや、困ったことがあればこの豊津西中学校を訪れて、皆さんが仲間とともに過ごした三年間を思い出してください。きっと解決に向けてのヒントがあるはずです。皆さんは、この豊津西中学校で「人とつながる力」を学び、「チームで課題を解決する力」を付けてきました。また、皆さんには「無限の可能性と創造力」があります。時代の変わり目だからこそ、『自分の能力を生かす能力』を磨き続け、自分の人生の中でみなさん一人ひとりの、素敵なStrongを綴り続けてください。

さて、保護者の皆様、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。至らぬ点多々あったかと思いますが、三年の担任をはじめ教職員一同、精一杯努力して参りました。それに応え、子どもたちもよく頑張ってくれました。この間、保護者の皆様からいただきました、本校教育活動に対するご理解・ご協力に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、公私何かとご多忙の中、ご臨席賜りましたご来賓の皆様、高いところからではございますが、厚くお礼を申し上げます。これからも、地域において、卒業していく生徒の成長を温かく見守っていただけたらと存じます。今後とも、本校教育活動の推進に、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

さあ、巣立っていく四十八期生の皆さん！皆さん一人一人が人生の主人公です。無限の可能性が広がる大海原へ大きく第一歩を漕ぎ出してください。皆さんの限りない成長と今後の活躍を願って、贈る言葉といたします。



令和七年三月十四日

吹田市立豊津西中学校

校長 森田 直樹